2022-2023 年度 RI テーマ

第 2780 地区　ガバナー
佐藤　祐一郎

第 3 グループガバナー補佐
永松　秀行

イマジン
ロータリー

Rotary

2022-2023 年度
藤沢ロータリークラブ週報

■創　立　／　昭和 29 年 6 月 3 日　　■第 68 代　会長　／　廣島　純　　幹事　／　鈴木　大次
■事務所　／　藤沢市藤沢 93 新堀ライブ館 204　TEL：0466-25-4000　FAX：0466-26-9292　E-mail：info@fujisawa-rotary.com
■例会日　／　毎週水曜日 12:30～13:30　　■例会場／　湘南鎌倉クリスタルホテル TEL：0466-28-2111

NO. 4　　第 3262　　例会　　２０２２年　　７月　　２７日　　天候　晴れ

ロータリーソング「手に手つないで」
「四つのテスト」　　下野　多佳子　会員

≪ゲスト・ビジターの紹介≫

卓話ゲスト：井上　由佳　様
（藤沢 RC 推薦 R 財団国際親善奨学生 OG）
ゲスト：松本　昌大　様
（野村證券株式会社藤沢支店/加藤会員ご後任）
ビジター：中山　冨貴子　様（茅ケ崎 RC 会長）
富田　桂司　様（茅ケ崎 RC 幹事）

≪ZOOM 出席≫

岡崎　記久子　会員

北 RC のインターアクト提唱クラブ、帯広大谷高校インターアクトクラブと、湘南学園インターアクトクラブのビーチクリーンと交流会が、開催されます。帯広からは生徒さん 11 名と先生帯広 RC より 3 名がいらっしゃいます。
メール、FAX でご案内しております。ご興味のある方は、ご参加下さい。湘南学園さんで、昼食のご用意もしていただけます。
湘南学園インターアクトクラブ、この 2 年程、活動が出来ておりませんでした。これをきっかけにメンバーが増えていくとよいと思います。提唱クラブとしても応援したいです。ご協力お願いいたします。

≪会長報告≫

先週は欠席させていただき大変失礼いたしました。川上副会長、会長職執り行っていただき、ありがとうございました。
例会前に松本様の会員選考委員会のご面談をしていただきました。後ほど、ご案内を致します。
コロナが又増えてきております。急な行動抑制はないようですので、通常通りの例会を執り行っていきたいと思います。これから人が集まる季節です。
皆様、体調にお気を付けください。
今週の土曜日、以前からご案内しております、帯広

≪幹事報告≫

白旗神社のお祭り無事おわりました。ありがとうございました。例年より露店の数を減らし、時間も短くしましたが、盛況でした。
・活動計画書が出来上がりました。1 部づつお持ちください。
・地区親睦ゴルフコンペの申し込み期限が、8 月 3 日となっております。ご希望の方はご連絡下さい。
・出席規定免除、1 名申し込みがありました。

出席報告　（　　）内は計算に用いた会員数
＋〔　〕は Zoom 出席者

例会月日	会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率	メークアップ会員数	修正出席者数	修正出席率
7月13日	43(40)名	24名	18名	60.00%	0名	24名	60.00%
7月27日	42(39)名	25＋〔1〕名	13名	66.67%			

≪スマイル報告≫

中山　冨貴子　様（茅ケ崎 RC）

茅ヶ崎 RC 中山です。

本日は親クラブ様へご挨拶を会長幹事でお伺いさせて頂きました。一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

富田　桂司　様（茅ケ崎 RC）

藤沢クラブの皆様、今日は！子クラブの茅ヶ崎クラブより、今年度、会長幹事としてご挨拶に伺いました。一年間、中山会長、富田コンビにてクラブ運営に邁進させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

廣島　純　会長

井上様、卓話よろしくお願いします。

中山会長様、富田幹事様、本日はようこそお越しくださいました。

川上　彰久　会員

加藤さん、お世話になりました。本社でのご活躍をお祈りいたします。松本さんこれからよろしくお願い致します。

茅ヶ崎 RC 中山会長、富田幹事、ようこそ!!

井上様、卓話よろしくお願いいたします。

鈴木　大次　会員

本日は茅ヶ崎 RC 中山会長、富田幹事ようこそいらっしゃいました。

野村證券　加藤様、新天地でのご活躍を祈念致しております。松本様、宜しくお願い致します。

井上様、本日の卓話宜しくお願い致します。

新堀　きよみ　会員

先週は欠席させて頂き、失礼しました。

本日は井上様の卓話を楽しみにしております。

加藤　浩　会員

皆さん、大変お世話になりました。

ありがとうございました！

≪加藤会員よりご挨拶≫

大変お世話になりました。

今後もご活躍をお祈り申し上げます!!

ご後任の松本様。よろしくお願いいたします。

≪小話　3 分間スピーチ≫

崎山　直夫　会員

話題の映画「トップガン　マーベリック」についてお話とお話いただきました。

前作は学生時代、今回は映画と同じ、指導的な立場にあり、人を育てることの難しさに大変共感になさったとのことです。事業所を代表する会員皆様にも見ていただきたい映画とお薦めいただきました。

≪卓話≫

「ミュージアムの今－
教育研究と親の立場から」

1999 年度藤沢 RC 推薦 R 財団国際親善奨学生
明治大学文学部准教授
井上　由佳　様

（紹介者：野口　R 財団・米山奨学委員長）

1999 年度ロータリー国際親善奨学生の井上由佳です。英国のロンドンに留学し、博物館学・博物館教育学を学んできました。スポンサークラブは 2780 地区藤沢ロータリ―クラブで、カウンセラーは岩崎裕孝様でした。岩崎様は宝製菓の工場をご案内くださり、袋いっぱいにお菓子をお土産にいただきましたことをよく覚えております。事務局の白井様をはじめ、藤沢ロータリークラブの皆様から暖かい声援をいただき、渡英いたしました。

私はロンドン大学ゴールドスミスカレッジの教育学修士課程で学び、教育学修士を修めました。その後、Institute of Education(IOE、現在の IOE-UCL)の博士課程に進み 2005 年 6 月に教育学博士号を取得しました。帰国後は千葉県佐倉市の国立歴史民俗博物館に勤務したのち、茅ヶ崎市の文教大学国際学部に着任しました。2019 年度からは現職の明治大学文学部資格課程で学芸員養成を担当し、優秀な学生たちと共に研究教育活動に勤しんでいます。

私の専門分野は博物館教育学と言いまして、博物館において人々はどのような時間を過ごし、その人々の中ではどのような気づきや変化が起きているのかを研究しています。現在は、博物館の専門職である学芸員を大学で養成することを通して、人材育成に深く関わっています。

本日は「ミュージアムの今」について、湘南地域の博物館の概観を通してお話ししたいと思います。私が現在住んでいる茅ヶ崎市には、茅ヶ崎市美術館、茅ヶ崎ゆかりの人物館、開高健記念館、そして 7 月 30 日にオープンする茅ヶ崎市博物館があります。アートや人文系のコレクションが多い傾向があります。各館の場所も市の南北に渡っています。お隣の平塚市は、戦後の都市計画の中で公園や博物館、図書館、美術館がまとめて建設されましたので、それぞれを徒歩で行き来できる位置関係にあります。文教施設をまとめて建設する事例は、被災し復興の際に綿密な都市計画を立てた街に見受けられます。

藤沢市については、藤沢市民ギャラリー、藤沢市アートスペース、藤澤市藤澤浮世絵館、藤沢市ふじさわ宿交流館などの様々な種類の文化施設が駅近辺のみならず各地に散らばっています。このように湘南エリアの３つの自治体を比較するだけでも、その街によってミュージアムの種類や立地が大きく異なり個性があることがわかります。

本日は藤沢市ふじさわ宿交流館を事例にお話しします。この交流館は「旧東海道藤沢宿の歴史、文化等と触れ合う場を提供するとともに、地域の人及び当地を訪れる人の交流を図ることにより、市民の文化の振興に寄与し、旧東海道藤沢宿及びその周辺地域の活性化及びにぎわい創出に資するための施設です。」と公式ウェブサイトで紹介されています。それでは、この交流館は博物館なのでしょうか？傍から見たら博物館に見えますが、コレクションを持っておらず収蔵庫を持っていないこと、学芸員が配属されていないことから博物館ではありません。しかしながら、展示や交流事業などは実施していますので、博物館機能の一部を担った新しいタイプの文化施設となります。実は現在の日本にはこうした交流館やふるさと館といった

博物館に似た機能を持った施設が増加する傾向にあり、長期的な運営の展望や地域の人々や学校等との連携が課題となっています。

日本のみならず世界の博物館は社会の課題と向き合い、その解決に向けてできることに取り組んでいくことが望まれています。最新のＩＣＯＭ（国際博物館会議）による博物館の定義は「博物館は、社会に奉仕する非営利の常設機関であり、有形及び無形の遺産を研究、収集、保存、解釈し展示する。一般に公開された、誰もが利用できる包摂的な博物館は、多様性と持続可能性を促進する。倫理的かつ専門性をもって、コミュニティの参加とともにミュージアムは機能し、コミュニケーションを図り、教育、楽しみ、考察と知識の共有のための様々な体験を提供する。」が仮案として 2022 年のプラハ会議に提出されています。冒頭にある通り、博物館も「社会に奉仕する」機関であり、その根本はロータリーの精神とも通ずるものがあると思います。

多くの人々は自分の子供や孫が大きくなってしまうと博物館に足を向けなくなってしまいますが、生涯にわたり博物館を活用する人が増えていってほしいと思います。博物館はその姿を大きく変えつつあり、多様な市民のニーズに応えています。私たちが市民学芸員として研修を受けることで博物館活動を内側から支えることもできます。ぜひとも足を運んでいただき、博物館の新しい活用方法をそれぞれに見出してみてください。

廣島会長より、井上様に謝辞

例会前後で多くの方が、井上様を囲んで歓談なさる様子がございました。

野口　ロータリー財団・米山奨学委員長より、
井上様のご紹介をいただきました。

本日のお料理